

鶴岡天神祭(別名:化けもの祭)のイベントの一つとして、本校ソーラーカーの展示コーナーが設けられました。(5月25日)

目 次

入学式式辞	02	制御情報工学科新入生	14
校長就任のごあいさつ	04	物質工学科新入生	15
後援会長挨拶	05	専攻科新入生	16
新しい段階に入った高専	06	編入生	17
進化する「専攻科」	07	学生会のお仕事	18
JABEE認定を取得	07	What's 鶴鳴寮	19
図書館だより「東雲」	08	OB紹介	20
在校生の各種資格取得状況	09	研究室レポート	
新入生・編入生 一人一言		(有機機能材料研究室)	21
機械工学科新入生	10	離着任者挨拶	22
電気電子工学科新入生	11	インフォメーション	24

入学式式辞

本日ここに、新規入学者のご父母の方々、関係者の方々のご臨席を賜り、平成18年度鶴岡工業高等専門学校本科および専攻科入学式を挙げてまいりましたことは、本校在校生および私たち教職員一同にとりまして無上の喜びとするところでございます。

本科および専攻科にご入学されました皆さん、ご入学おめでとうございます！本日、3年次および4年次への編入学者9名を含めまして、本科170名、専攻科21名、合計191名が鶴岡高専に入学致しました。この中には海外からの留学生2名も含まれております。

鶴岡高専は皆さんのご入学を心から歓迎致します。加えて、ご父母の方々、関係者の方々には心からお慶び申し上げますとともに、長年にわたり、愛情深く、大切にご養育されましたご子息、ご令嬢を私たちにお預け下さいましたことに心からお礼申し上げます。かくなるうへは、私たち教職員一同、皆さま方のご子息、ご令嬢の教育に誠心誠意努力することをここにお願い申し上げます。



鶴岡高専は、産業界からの強い要望に応え、実践的技術者を育成する国立工業高等専門学校の一つとして、昭和38年4月に機械工学科と電気工学科の2学科について学生の受け入れを開始致しました。

その後、現在の物質工学科の前身であります工業化学科、機械工学科の改組による制御情報工学科が逐次新設され、現在の4学科体制になりました。平成15年4月には2専攻からなる専攻科が設置されました。さらに、平成16年4月には鶴岡高専をはじめ、全国55の国立高専が一つの独立行政法人になり、現在に至っております。このように、皆さんの鶴岡高専には40有余年の歴史がございます。



新1年生代表宣誓

次に、高専における教育について簡単にお話致しますと、本科においては一般科目と専門科目がくさび型に配置されて、5年間の一貫教育により、効果的かつ効率的な専門教育が行われております。その卒業生には、県内外の数多くの会社などから数多くの求人がきております。また、専攻科進学あるいは他大学の3年次編入学の道も開かれております。専攻科においては、5年間の本科教育の上に、さらに2年間のより高度な技術教育が行われております。その卒業生は、他大学の大学院修士課程への入学も可能でございます。また、健康な心や体、豊かな人間関係を養うために、課外活動としてスポーツや文化関係のクラブ活動が強く薦められております。

鶴岡高専におきましては、教室や実験室、あるいは研究室において先生から受ける受動的な教育に加えまして、創設以来40有余年の長きにわたり校訓として掲げております「自学自習」にもとづく能動的な教育を行っております。この校訓は、皆さんが自らの意志で、積極的に学び、習い、そして考えることを要請しております。このような受動的な教育と能動的な自学自習を併せて実行することが鶴岡高専の教育方針でございます。

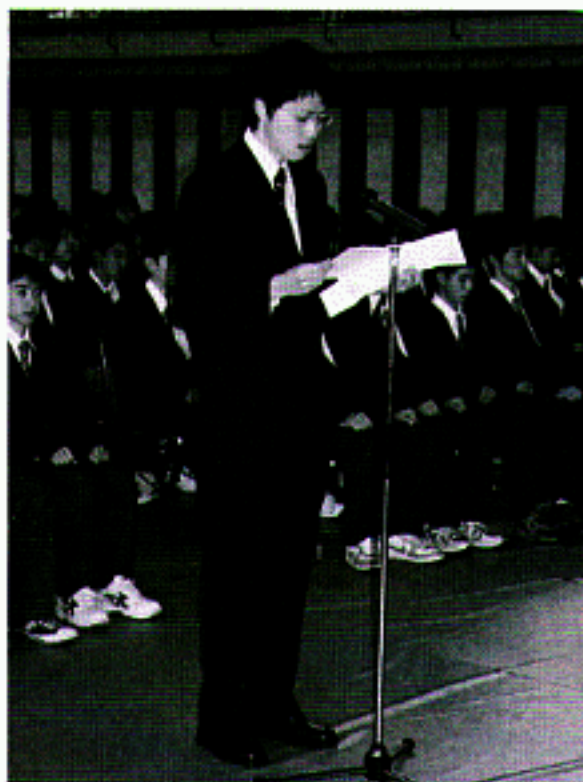
このような優れた教育方針の成果と致しまして、鶴岡高専には40有余年の輝かしい歴史と伝統に加えて、数多くの優れた人材を社会に送り出しているという素晴らしい実績がございます。鶴岡高専を卒業され、母校鶴岡高専の教授や技術専門職員として活躍されている先輩も、また多くの会社で偉くなられた先輩も数多くございます。さらには、高専独自の体育大会、ロボットコンテスト、プログラミングコンテストなどの東北地区大会や全国大会においても、皆さんの先輩たちは多くの優れた成績を残しております。今日入学されました皆さんには能力と実力があります。皆さんが、その能力と実力を活かし、このような数多くの優れた先輩たちに負けないご活躍をされることを、私たち教職員一同は心から期待致しております。



編入生代表宣誓

本科にご入学の皆さん、専攻科にご入学の皆さん、高専は皆さんの若くて熱い夢を育むところでございます。皆さんは将来への大きな夢に胸をふくらませて、この鶴

岡高専に入学されたことと思います。鶴岡高専において大きな夢を描いて下さい。そして、その夢を育み、実現するために、自らの生き方を模索しつつ、豊かな人間性と優れた創造性を身に付けていただきたい。



専攻科生代表宣誓

皆さんの夢を実現すべく、私たち教職員一同は、教育研究活動とサービスの向上に誠心誠意努力する所存でございます。皆さんは、私たち教職員を心から信頼していただき、豊かな自然に恵まれ、歴史と文化の香り高い、この鶴岡の地にあります、皆さんの鶴岡高専において楽しく、生き生きと、有意義な学生生活を送っていただきたいと心から希望し、期待致しております。以上をもちまして、校長式辞と致します。

平成18年4月9日

鶴岡工業高等専門学校長
横山 正明



校長就任のごあいさつ

校長 横山 正明



40有余年の長い歴史と輝かしい伝統、加えて数多くの優れた人材を社会に送り出してきたという素晴らしい実績のある鶴岡工業高等専門学校第8代校長として、豊かな自然に恵まれ、歴史と文化の香り高い、この鶴岡の地に赴任して参りました。

しかし、この度の人事は私自身にとりましては晴天の霹靂のような出来事で、心の準備をしたり、また鶴岡高専について調べたり、勉強したりする時間的余裕もなく、何も知らないままに校長を引き受けてしまいました。そのため皆さまにいろいろ教えていただきながら、校長の責務を果たしていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い致します。

さて、最近の国立高専をとりまく状況は非常に厳しいものでございます。年々歳々国からの運営費交付金は減らされ、教職員の数も減らされ、さらに悪いことに少子化によって入学希望者がだんだん減少しております。本校も状況はまったく同様です。

運営費交付金の削減に対しては、いっそうの外部資金の獲得が望まれ、教職員の皆さまの自助努力が期待されます。

教職員定数の削減、高齢者雇用安定法に対しても早急に対応を考えなければなりません。

入学希望者の減少に対しては、早急な対策が望まれます。低倍率が続き、定員割れを何年も続けて起こそうものなら、学校の統廃合も問題にされそうな雰囲気であり、学校の存続すら危うくなります。この入学希望者の減少にはあらゆる手だてを考えて、なんとしてでも歯止めをかけなければなりません。そのためには、本校構成員の皆さまのなご一層の努力が必須、不可欠でございます。

平成16年度の独立行政法人化に際して、本校は中期五ヶ年計画を立て、将来進むべき方向性として「地域密着型高専」を選択しました。この方向性は、本校構成員の総意として決定されたものですので、私もこの方向性を尊重していきたいと考えております。

教育、研究、学内外における他の活動などにおいて、地域と本校が足らざるところは補い合い、余るところは分け与え、両者が共存共栄する関係を築くことができると考えております。

この計画にしたがいまして、本校は現在、地域に密着した高専として充実し、発展する方向に進んでいます。ここで、一つ気になることは、「地域密着」を標榜しながら、地域企業への本校卒業生の就職率が極めて低いことです。このため、地域の企業には、本校は「近くて遠い存在」として受け取られているようです。「高専と地域企業との連携を促進し、地域企業の発展および高専の研究教育機能の充実に寄与する」ための「鶴岡高専技術振興会」から多額の経済的支援をいただきながら、十分なお返しができないことに申し訳なさを感じております。いずれに致しましても、本校の進む先々には庄内地方の冬のような厳しい状況が待ち受けております。私と致しましては、すべてにおいて誠心誠意努力致す所存ですので、何卒よろしくお願い致します。

略 歴

横山 正明 (1942年6月生)

- 1965年3月 東京工業大学 理工学部 制御工学科卒業
- 1971年3月 東京工業大学 大学院理工学研究科 機械工学専攻博士課程単位取得退学
- 1971年4月 東京工業大学 工学部 助手
- 1980年4月 東京工業大学 大学院 助教授
- 1991年3月 東京工業大学 大学院 教授
- 1999年4月 東京工業大学 評議員
- 2003年4月 東京工業大学 附属図書館長
- 2006年4月 東京工業大学 名誉教授

後援会長挨拶

健やかな成長を願い



後援会長 澤川 新治

平成18年度、鶴岡高専に入学されました学生の皆さん並びに保護者の皆様にご入学に際し心からお慶びを申し上げます。

また、鶴岡高専後援会に対しましても、その趣旨に温かいご理解のうえ入会をいただきましたことに、深く感謝と御礼を申し上げます。

鶴岡高専も、独立行政法人となり、今まで以上に学校の特色を生かしながら、地域の皆様より格別なるご支援のもとで日々努力をいたしております。

後援会事業におきましても、学生へのさまざまな支援活動に視点を置き、学校環境や教育の更なる向上に資することはもとより、学生生活・学生の活動拡大に充分にバックアップが図られるよう協議・検討を続けております。

特に基礎学力の向上や各種資格試験の受講に際し積極的な取り組みがなされており、学生自らが自分の可能性に挑戦できる環境づくりに努めております。

日々激しく変化し続ける社会情勢の中、時代の担い手となり地域社会に貢献し、企業が求める社会人となり活躍することを期待しています。

そのため、後援会ではより高い知識と技術の習得ができるような体制についても検討しています。

また、さまざまな課外活動に対しても、意欲的に取り組んでいる学生が多く「常に自分を磨く」という気持ちを持つような環境づくりを考えながら、部活動・クラブ活動での鶴岡高専の認識を広く大勢の方々から知っていただくとともに、その活躍にも期待しております。

そのためにも、少しでも学生の負担軽減に繋がるよう努力もいたしております。

とかく、中学生までの義務教育と違い、親の手から離れがちになる年頃ではありますが、学生生活が楽しく有意義に過ごせるように、親も学校に対してもっと関心を持っていただきたいと思っております。

最後に、毎年各地区で開催されます保護者会につきましても、保護者の皆様からの積極的な参加をいただき、多くのご意見やご要望をお聞かせ願ひ、より良い環境づくりに役立てて、地域に密着した学校になるよう努力して参りたいと思っておりますので、保護者の皆様より更なるご支援をお願いいたします。

◎役員名簿

会 長	澤川 新治 (5 I)			
副会長	三浦 司朗 (5M)	秋葉 弘毅 (4M)	佐藤 清一 (4M)	
理 事	佐藤 三喜雄 (4M)	今野 修 (4E)	五十嵐 一孝 (4 I)	金山 雅一 (4B)
	菅原 二三男 (3M)	叶野 仁 (3E)	渡部 恵美 (3 I)	原田 昌彦 (3B)
	佐藤 幸一 (2M)	佐藤 淑子 (2E)	白幡 功 (2 I)	蛸井 博人 (2B)
	今野 広美 (1M)	和田 善浩 (1E)	落合 孝 (1 I)	阿部 寛 (1B)
監 事	太田 裕徳 (5E)	菅原 栄治 (5B)	叶野 仁 (3E)	

◎地区別 保護者会 会長

鶴岡・田川／佐藤 三喜雄 (4 M)	酒田・飽海／菅原 しげり (4 I)
新庄・最上／高橋 孝二 (4 M)	山形・村山／高橋 八朗 (5 E)
置 賜／新関 純一 (5 I)	新 潟／斎藤 良茂 (3 I)

(M—機械工学科、E—電気(電子)工学科、I—制御情報工学科、B—物質工学科) (敬称略)

新しい段階に入った高専

教務主事 山内 清



1. 高専の性格が変わった

高専は昭和37年に「職業に必要な能力を育成する」ことを目的に設置され、45年目に入りました。私は戦後ベビーブーム＝団塊世代の最初の年である昭和21年度生まれで、酒田一中の生徒でしたが、高専発足の記事を見て、その当時は東北に一つだけあった平高専（現在の福島高専）に入学しました。大学の専門課程同等の力を20歳で身につけ早く給料がもらえる、家を離れても寮があるというのが、貧乏で両親不和だった家庭に育った私には大きな魅力だったのです。その私が、回り道をして、本校の経済学の教官になって赴任し、今年4月からは学生の教育を掌理する教務主事ですので、何か運命的なものを感じます。

この間に、日本社会全体が高度成長・経済大国・高学歴化・15年のバブル不況で大きく変遷し、産業構造も重厚長大型から軽薄短小型へと変わったため、この間あまり変わることのなかった高専は、逆に期待や評価が伸び悩む経験もしてきました。しかし、10年ほど前から各高専に専攻科ができ、JABEE（日本技術者教育認定機構）での国際資格にも次々とパスし、高専は平成16年から独立行政法人国立高等専門学校機構法のもと、国立高専が全体で一法人になり、「職業に必要な実践的かつ専門的な知識および技術を有する創造的な人材を育成する」、「高等教育」の機関として再評価されています。高専は大学の工学部ともちがう「5年間の一貫教育」、あるいは「専攻科を含めた7年間の連繋教育」によって、工学技術者教育の高等教育機関として、新しい段階を迎えたといえます。

2. 「ものづくり」気運復活で見直される高専

2007年3月に高専発足時の最初の中卒団塊世代が60歳定年で一斉に退職します。これが4,5年続いたため、800万人ほどが「定年世代」になり、代わりに入っていく学卒世代は500万人位で、300万人も不足します。日本経済を支えていた「ものづくり」の開発・設計技術・熟練技術をもつ人が急に足りなくなりました。それで「2007年問題」が起り、即戦力と期待されている高専に再び熱い目が注がれています。団塊世代の進学ブームに即して設置された高専が、団塊

世代引退でまたまた活躍の場が出てくることに、歴史的運命を感じます。

3. 競争にさらされる高専

少子高齢化社会の到来は、高専にはいいことだけではなく、厳しい競争の環境にさらされる時代でもあることを意味します。鶴岡高専は学生・教職員一体となって、高校との志願者獲得競争、高専間競争（今年度から高専共通テストが実施されます）・高専と大学との就職・進路競争などにうち勝って行かなければなりません。大きくは国際的技術競争もあります。独立行政法人化された我が校は、学校の教育力を上げ学生の実力を高めることが急務になっています。そのために、学生諸君への要求も高くなります。私は諸君の先輩として、特に新入生に以下のことを要望しておきたいと思います。

(1) 最初が肝心、出遅れないように食らいついていってください。特に数学は高校レベルとはちがいます。最初がわからないと卒業単位167のうち実に13%もある数学・応用数学が厳しくなり、他の専門科目にも影響します。

(2) 復習に重点をおき、一日授業以外最低2時間は勉強する習慣を身につけてください。すべてのごとは習慣化しないともものになりません。本校は今年から4,5年生に授業以外に自学自習を義務づける大学単位が一部導入されました。

(3) 語学は人生の戦いの武器です。英語力は高専生の弱点の一つです。そのため本校は4年でTOEICの受験を義務化し、本科生のうちに400点突破（専攻科修了の条件）をめざすなど、新しい試みを開始しています。

(4) 「豊かな人間性と広い視野を持つ」学生として成長してください。そのためには、授業以外にも、読書や部活動・社会貢献等も大事です。高専は大学受験に煩わされることなく、大卒相当の資格を得られるメリットがあります。それを活かしてください。

(5) 普通に標準的に勉強していればゆうゆう卒業できますが、万が一留年になってもめげずに卒業を目指してください。最終学歴校での一年くらいの遅れは長い生涯のなかで問題になりません。

進化する「専攻科」

専攻科長 丹 省一



本校が専攻科設立して4年目、修了生も2回を数える。本校は、昨年末に日本技術者教育認定機構(JABEE)の審査を受け、「国際標準を満たし、世界に通用する技術教育機関」としての認可を受けた。この結果、今年3月以降の専攻科修了生には、「JABEE教育プログラム修了証」が与えられる。名実共に、大学同等の教育を受けたとの認定証である。

本校本科の5年間で、一貫教育として大学並の教育を行なっている。専攻科では更に2年間の高度な教育内容と研究を通して、知識のみならず技術者としての心構え、研究に取り組む姿勢などが養われている。学会等での研究発表を義務づけているのも、その現れである。専攻科修了要件は、本科を卒業した学生にとって決して難しい課題ではない。また、全国的に高専専攻科修了生の企業等での評価は年々高まっており、企業等からの求人数も多い。ここで、重複するところもあるが、専攻科のメリットの一部を列記する。

1. 大学卒と同じ「学士」の称号が得られる。
2. JABEEプログラム修了証が得られる。
同時に「技術士補」の資格が得られる。
3. 大学と比較して、納付金(入学金、授業料)が少ない。
4. 少人数教育で、密度の濃い授業や研究が行なわれている。

年々、良さが理解され、かつ入学希望者も増加傾向にある専攻科の定員は、本科の1学年の学生数の10%、つまり16名と少なく狭き門ではある。この門を通過してきた学生に、本校専攻科は全力を注ぎ、より社会に貢献できる学生を育てている。

本校の技術者教育が JABEE※ 認定を取得

前JABEE対応小委員会委員長
宮崎 孝雄



本校は、平成15年4月の専攻科設置と同時に、教育内容の向上と質の保証を進めてJABEE認定を取得すべく努力してきました。このことについては、本誌でもこれまで2回136号(2004・3)、140号(2005・10)に記事を掲載させていただきました。

昨年、平成17年11月下旬にJABEEによる実地審査が行なわれ、このたび正式にJABEE認定を取得することができました。JABEE認定証は、平成18年3月専攻科修了生に遡って有効となります。JABEE認定を得たということは、本校の技術者教育の質が名実とも国際的に通用すると認められたことであり大いに誇るべきことです。山形県では、山形大学工学部に続いての認定になります。

JABEE認定を受けた教育課程を修了した学生(本校の場合は専攻科修了生)は、学士の資格に加えて技術士補の国家資格が与えられます。

また、JABEE修了認定証は国際的に認定された資格であるために、米国など海外において通常の大学卒とは異なる特に優秀なエンジニアの卵として評価されます。日本では、JABEE認定を取得した大学がまだ少ないこともあり企業の認知度は必ずしも高くありませんが、次第に認知度が深まるものと予想されます。ところで、JABEE認定の資格は永久の権利ではなく、5年ごとに継続審査があり更新していく必要があります。本校もこの資格を失わないように、常に教育内容と質の向上を目指して教員、学生ともに努力を継続していくことが必要です。

※日本技術者教育認定機構の略

(Japan Accreditation Board for Engineering Education)

「生産システム工学」の学習・教育目標

- A. 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける。
- B. 地球的視野と技術者倫理を身につける。
- C. 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力を身につける。

- D. 工学の基礎学力と情報技術を身につける。
- E. 一つの得意専門分野をもち、生産技術に関する幅広い対応能力を身につける。
- F. 論理的表現力と英語力を身につける。
- G. 計画的、継続的、客観的な問題解決能力を身につける。



図書館をオアシスに

世の中、IT 革命の時代。私たち教職員の仕事もせわしく、ネットワークを飛び回る仕事メールの返答に追い回されています。やっとの事でたまったメールに返答すると、何となく仕事をした様な気になっている自分がとても空しく思える時があります。

インターネットは止めようがなく、この春、世界の Web ページは数百億に達し、「ライブドア」の検索には 3300 万件がヒットするそうです。どんな情報も目の前のパソコンから簡単に取り出せる時代に図書館の役割が変わるのもやむを得ない事です。

一方で、このような激しい変革の時代に、最後に個人に残るのは肉体そのものだそうです。一人の人間の脳には 1000 億もの神経細胞があるそうで、数百億の Web ページも未だ一人の人間の脳細胞の数には及ばないと思えば、何となくびっくりしたり、安心したりしてしまいます。

友達と話をするのは 1000 億の脳神経と 1000 億の脳神経が情報を交換しながら交流するのだと考えれば結構な価値がありそうです。楽しい話なら脳神経の反応もすばらしくて、授業で居眠りしている時とは見違えるような活性を示すかも知れません。

図書館だより No.35

図書館長
嶋屋 誠



学生も教職員も忙しくなる一方の時代に、こんな図書館があればと思うことがあります。それは高専の「オアシス」のような空間になる図書館です。

「オアシス」へ行くとこんな光景が目に入ります。広く静かな閲覧室スペース。新聞や雑誌を読んでくつろいだり、時には小説で心を慰めます。

別のスペースでは、明日までのレポートがあるので、必死に調べ物に集中している学生がいます。とっても広いのであまり他人を気にせず自分のやりたい事に集中できます。書架は別の階にあるため、閲覧室はとってもゆったりしていて圧迫感はありません。

隣の大きな部屋に行くと、コンピュータがあるこじんまりしたブースが並んでいて、学生が思い思いにインターネットで調べ物をしたり、CD を聞いたり、DVD で映画を見たりしています。書架のある部屋のインターネットカメラの映像で、居ながらにして書架を閲覧できるし、蔵書検索もできます。

もう一つ「オアシス」という喫茶店みたいな看板のあるしゃれた空間があります。コーヒー(¥200?)を飲みながら本を読んだり、友達と話をしたり、待ち合わせをしたりすることができるのです。

夢のような話になってしまいました。まずは、図書館に多くの人に足を運んでもらって利用率を高めないと、「お金」が来ない厳しい時代になりました。

「図書館を活用する賢いお父さん・お母さん」の紹介。(PR)

金曜の夜、寮にいる子供を毎週のように車で迎えに行くんです。寮に着くと携帯で呼び出すのですが、なかなか出ないのです。風呂にでも入っているんでしょうかね? 尤も今日は残業で7時を回ってしまったから、待ちきれずにどっかに出ているのかも知れません。…毎週のように繰り返しているうちにいい方法がありました。今では学校に着くとすぐ図書館へ行くのです。夜8時まで開いているので、まずゆっくりと新聞を読みます。ああそうだ!「ダヴィンチ・コード」ってあるのかな? 係の人に聞いてみたらあるらしい。免許証を出し、手続きをして借りてみました。3冊まで8日間借りられるそうです。来週は土曜日に迎えにくるのでその時返せばいいんです。そうこうしている内に子供が来ました。それではまた来週!!…早くも一週間。あれ、今日は子供の方が早く来ていました。「じゃ、帰ろうか…」

図書館一般開放

月～金 8:30～20:00

土 9:00～17:00

(日、祝、長期休業中は休館)

初回のみカウンターで手続きが必要です。次回からは「学外者受付簿」に記入するだけです。

8日間以内3冊まで

貸し出しを受けられます。

資格取得者一覧

TOEIC (500点以上)	ヤン(5I)895点、 長岡亮(3I)675点、 忠鉢洋輔(5I)530点、	スミ(5M)840点、 佐藤瑞穂(5B)625点、 池田祐介(5B)510点、	ズラフイー(5B)740点、 小泉寛也(専2)540点、 後藤拓喜(3I)510点		
実用英語検定準1級	ライ(4I)				
実用英語検定2級	井上美知代(5B)、河野竜也(4I)、大瀧友樹(4B)、小池飛鳥(3M)、長岡亮(3I)				
実用英語検定準2級	青沢陽平(専1)、 伊藤孝浩(5E)、 岡部慎吾(5E)、 近井学(5E)、 町田好史(5I)、 丹野幸太郎(4E)、 矢作悠(4I)、 松浦千里(4B)、 青澤優友(3I)、 鈴木健之(3B)、	金山調(専1)、 伊藤雅人(5E)、 小野寺基克(5E)、 大滝泰広(5I)、 阿部央(4M)、 山本啓太(4I)、 青柳大樹(4B)、 石井智久(3M)、 相場卓(3I)、 今野拓保(2E)、	城戸弘明(5M)、 太田拓実(5E)、 後藤拓弥(5E)、 佐藤貴昭(5I)、 小林潤(4M)、 佐藤恭平(4I)、 阿部嵩也(4B)、 高階悠貴(3M)、 庄司一葉(3I)、 名取一真(2E)、	富樫政樹(5M)、 奥山森(5E)、 栗田敦志(5E)、 大谷優子(5I)、 渡部高大(4M)、 堀江将隆(4I)、 伊藤孝弥(4B)、 佐藤郁(3M)、 村田彩輝斗(3I)、 丸藤洗(2B)	
第2種電気工事士	青澤裕生(5E)、 高橋拓哉(5E)、	岡部奨(5E)、 小林竜(4E)、	岡部慎吾(5E)、 大矢純平(3E)	栗田敦志(5E)、 小池将太(5E)	
基本情報処理技術者	阿部洋太郎(5I)、 忠鉢洋輔(5I)、	今田英孝(5I)、 蛸井光(4E)、	澤川大貴(5I)、 石垣要(4I)、	新関真人(5I)、 齋藤拓也(4I)	
初級システム アドミニストレータ	井澤純平(5I)、 讃岐洗(5I)、 赤澤直哉(4M)、 菅原ひろき(4I)、	大滝泰広(5I)、 澤川大貴(5I)、 佐藤哲則(4M)、 三浦雄介(4I)、	小野寺諒(5I)、 田村大悟(5I)、 岡部勇斗(4I)、 森谷浩貴(4I)、	今田英孝(5I)、 忠鉢洋輔(5I)、 熊田美沙(4I)、 石沢裕(2I)	佐々木章克(5I)、 新関真人(5I)、 佐藤勇太(4I)
ソフトウェア開発技術者	今田英孝(5I)、 中鉢洋輔(5I)				
CAD利用技術者2級	樋口国孝(専2)				
甲種危険物取扱者	池田昂平(専2)、 佐藤雅利(5B)、	荒木孝将(専1)、 白幡皓(5B)、	池田佑介(5B)、 鈴木貫(5B)、	伊藤慧(5B)、 土田昌弘(5B)	
乙種全種類危険物取扱者	高山靖史(4M)、 岡山太樹(4B)				
乙種4類危険物取扱者	今野圭(専2)、 飯鉢千香子(5B)、 伊藤恭兵(5B)、 後藤裕樹(5B)、 菅原由利(5B)、 箕浦大樹(5B)、 青柳大樹(4B)、 大瀧佳菜(4B)、 榊原将人(4B)、 松浦千里(4B)、 五十嵐辰也(3B)、 佐々木麻衣子(3B)、 富樫拓也(3B)、	青沢陽平(専1)、 五十嵐立(5B)、 大沼聡(5B)、 今野貴文(5B)、 豊裕樹(5B)、 八木祐介(5B)、 阿部礼(4B)、 大瀧友樹(4B)、 菅井豪(4B)、 湊屋輝明(4B)、 石塚竹生(3B)、 佐藤沙映(3B)、 成澤友里(3B)	板垣さやか(専1)、 池田恒史(5B)、 門脇佳世(5B)、 佐藤拓之(5B)、 長谷川霞(5B)、 山本周平(5B)、 伊藤孝弥(4B)、 加藤洗(4B)、 田宮竜太(4B)、 渡部央(4B)、 井上寛(3B)、 設楽秀人(3B)、	早坂隆志(5E)、 池田亮(5B)、 金内温子(5B)、 佐藤瑞穂(5B)、 原田龍太(5B)、 大沼孝廣(4M)、 遠藤暁(4B)、 土井翔平(4B)、 阿部奈美(3B)、 大沼知世(3B)、 蛸井俊宏(3B)、	大滝泰広(5I)、 石垣努(5B)、 金城佑(5B)、 佐藤元治(5B)、 松本拓(5B)、 八嶽悟(4M)、 太田佳太郎(4B)、 金野昭(4B)、 福田光(4B)、 荒生勝也(3B)、 金子隆明(3B)、 田中秀成(3B)
乙種5類危険物取扱者	榊原将人(4B)				
乙種6類危険物取扱者	榊原将人(4B)、 土井翔平(4B)				
工業英語検定3級	飯鉢千香子(5B)、 伊藤慧(5B)、 齋藤崇文(5B)、 鈴木貫(5B)、 八木祐介(5B)、	池田恒史(5B)、 井上美知代(5B)、 佐藤拓之(5B)、 ズラフイー(5B)、 山本周平(5B)	池田佑介(5B)、 大沼聡(5B)、 佐藤雅利(5B)、 土田昌弘(5B)	池田亮(5B)、 後藤裕樹(5B)、 白幡皓(5B)、 松本拓(5B)	伊藤恭兵(5B)、 今野貴文(5B)、 菅原由利(5B)、 箕浦大樹(5B)
漢字検定2級	大滝泰広(5I)				
福祉住環境コーディネーター3級	樋口国孝(専2)				

新入生 一人一言 機械工学科

秋場 友貴

たくさんの事に挑戦し、頑張っていきたい。

阿部 耕

苦手教科をなくす。

阿部 晋也

ばかの頭で考えたから、明日もがんばれる。

飯田 真平

先は見えなくとも、一步一步進んで行こう。

五十嵐 康太

野球をがんばります。

池田 晃

すべての教科を65点以上とる。

池田 光輝

勉強で後れをとらないよう、自学を頑張る。

板垣 岳彦

文武両道を目指し、がんばっていききたいです。

伊藤 恭丞

数学、英語をしっかりと勉強する。

伊藤 広平

願いは叶う。少年達よ、大志を抱いて頑張ろう！

稲村 健幸

毎日コツコツと勉強をがんばっていききたい。

江川 絃貴

日々向学し文武両道で高専をしっかりと卒業する。

及川 慶彦

勉強で数学を頑張って、学校生活を楽しむ！

太田 拓也

勉強、部活の両立ができるようがんばる。

小笠原 雄一

他の人におくれをとらないようにする。

岡田 拓己

将来、社会で活躍できるエンジニアになりたい。

奥泉 暢之

専門的な事をしっかりと身につけるため努力する。

小野寺 克将

留年しないようがんばりたいです。

柿嶋 寿弥

寮の生活に慣れて、部活と勉強を頑張りたい。

小林 岳史

小屋重誠くんよりもやさしい心をもつ。

小屋 重誠

小林岳史くんの背を超えてみせる

近藤 秀太

たくさんの工業の技術を身に付けたい。

今野 克洋

予習・復習しっかり！今を精一杯。

今野 隆介

部活をがんばる。

齋藤 浩平

自由で楽しい、とても良い学校で～す。

貞松 翔

勉強も部活も精一杯頑張る。

佐藤 亮太

毎日の学習をしっかりと頑張りたいです。

澤川 尚史

色々なことをがんばっていききたい。

滝口 朝幾

とにかくおちないようにがんばります。

寺嶋 陸

勉強と部活を両立させてがんばっていききたい。

成沢 大地

部活も勉強もがんばる。

長谷川 祥太

勉強に部活！文武両道で頑張っていきたいです。

早坂 大夢

周りが自然豊富なところなので勉強が進みます。

平藤 駿介

高専で学べることの全てを学びとっていく。

本間 一平

部活と勉強どちらもがんばりたいと思います。

本間 康之

留年しないように努力する。

本間 譲

勉強も部活も両立させて楽しく生活する。

真嶋 智己

勉強と部活、どちらも頑張っぞ。

三浦 宗一郎

とにかく色々なことに挑戦する。

山口 賢二郎

これから5年間、留年だけは絶対しない。

新入生 一人一言 電気電子工学科

阿部 恭平

人間、先は見えないもんだぜ!!

阿部 巧

予習・復習しっかりして、授業に集中したい。

荒川 雅哉

元気にくらすんだ僕は!!

五十嵐 崇彦

赤点を取らないようにする。

井澤 祐輔

文武両道を目指して、がんばっていく!!

伊藤 悠

一度も留年しないようにがんばる。

宇佐美 光汰

なにごとに努力する。

薄木 康貴

将来いい仕事に就けるように勉強をがんばる。

門脇 成実

熱くなるような思い出を作りたいです。

後藤 悠希

元気に過ごす。

佐竹 紀章

専門分野をしっかりと学び、将来に役立てたい。

佐藤 哲

最大限の努力し、技術をしっかり身につけたい。

佐藤 孝成

部活と勉強を両立させ、5年間で卒業式を迎える。

佐藤 淳紀

とれる資格はできるだけ取る。

佐藤 隆紀

一つ一つを最後まで頑張る。

佐藤 成希

寮での高専生活を存分に楽しみたいです。

佐藤 遼一

高専生としての自覚を持って生活する。

柴田 才子

人のためになるような事をしたい。

菅埜 諒介

人を幸せにする「やさしい人」になりたいです。

菅原 情平

留年しないようにがんばる。

菅原 晋

電気関係の資格を取る。

菅原 拓磨

できれば留年せずに学校を卒業する。

鈴木 大輝

部活と勉強を両立できるようにがんばります。

鈴木 優

がんばりたいです。

土屋 勝彦

文武両道を目指し頑張る。

宮桎 勝俊

夢が見つかるよう勉学に励む。

土門 篤史

寮生活も授業も楽しいです。

土門 豊

5年間笑って過ごす。

中村 弦

この学校で勉強して、電気関係の資格をとります。

廣井 一輝

みんなについていけるように勉強を頑張ります。

堀 拓也

赤点を一度もとらないように勉強する。

堀 隼人

部活・勉強など一所懸命がんばりたい。

前田 涼

勉強全般を頑張り、無事に卒業したい。

宮崎 貴大

自分の夢を叶えられるように努力する。

山木 翼

赤点を取って留年しないようにがんばる。

山口 智

留年しないように精一杯頑張りたいです。

山本 悠貴

一日一日を大切にして、生活していきたい。

和田 義行

入ったからには精一杯頑張りたいと思います。

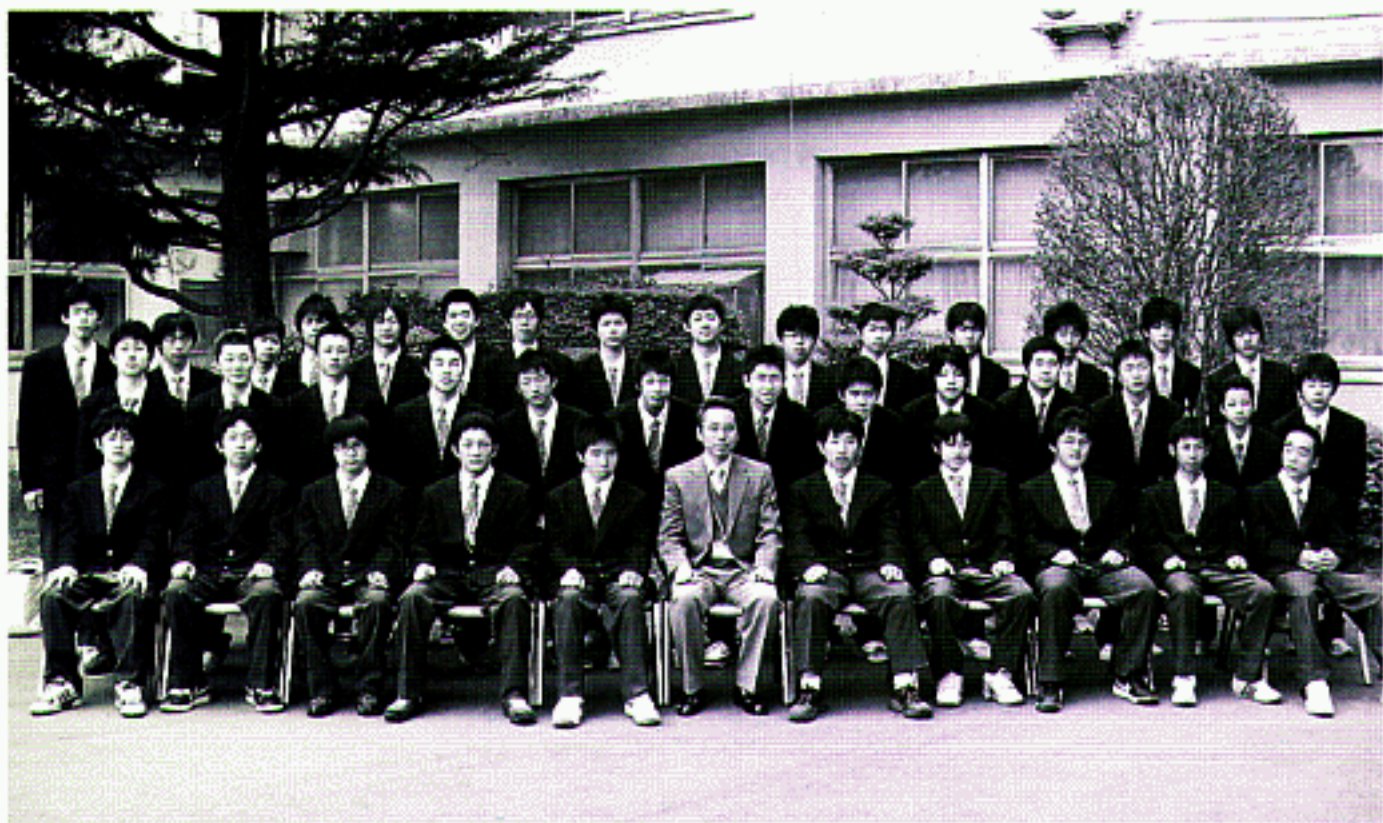
渡部 倭茂

部活と勉強を両立させられるように努力したい。

渡部 裕也

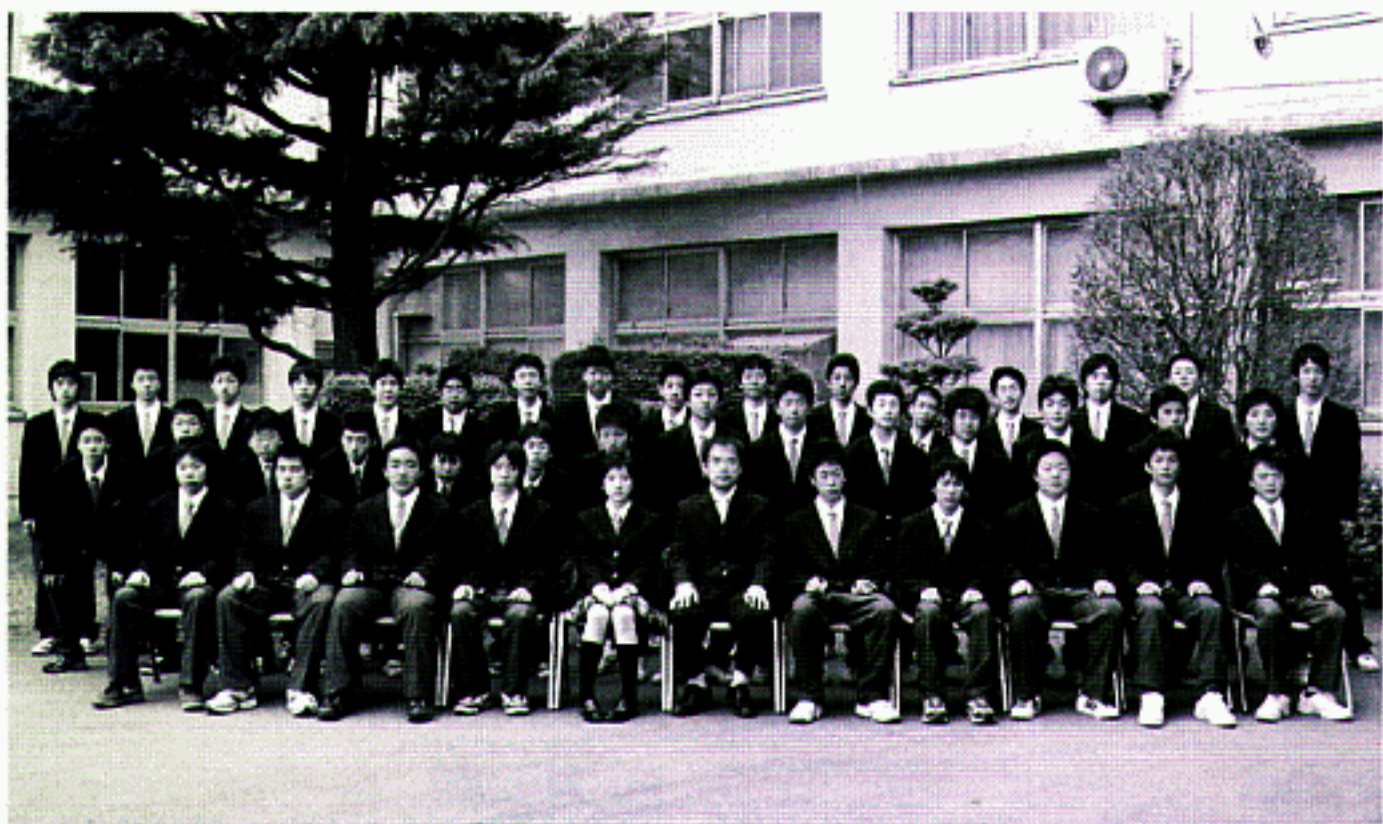
生活も勉強も気を抜かずいつもがんばりたい。

機械工学科



新1年生です！

電気電子工学科

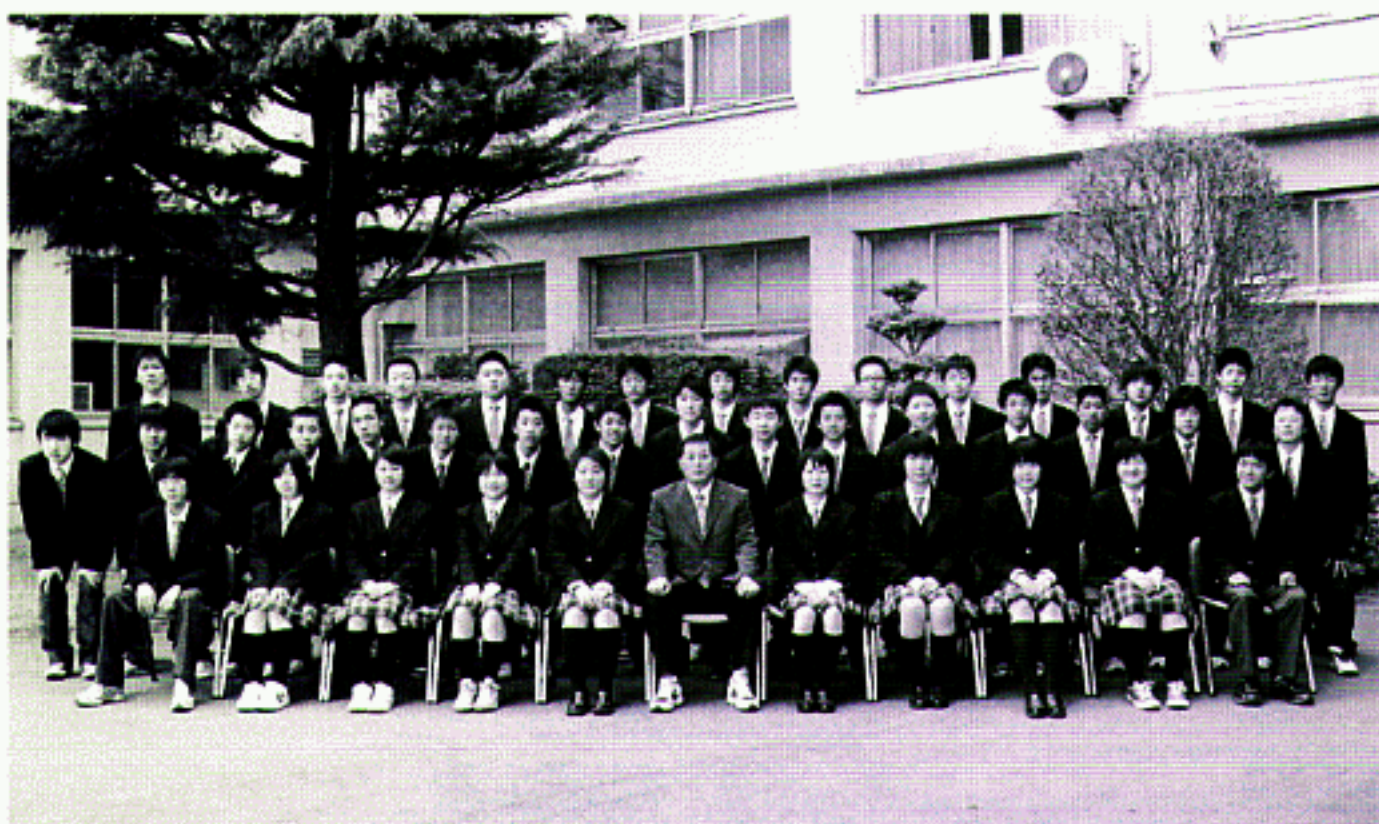


制御情報工学科



目指すは文武両道!!

物質工学科



新入生 一人一言 制御情報工学科

秋野 寛斉

充実感のある学校生活にしていきたいです。

秋山 彩果

勉強とDrumをガンバル。

秋山 裕幸

学食のコロッケパンとてもおいしいです。

池田 雄人

食堂のシュークリームがおいしい。60円。

石井 俊

休まずにがんばっていかうと思います。

石塚 雅英

文武両道を目指してがんばる!! 留年しない。

宇野 真司

初めての事が多いけど、楽しく過ごしたい。

大井 康平

鶴岡高专での生活に早く慣れたいと思います。

小川 裕也

留年しないよう頑張る。

落合 裕也

よろしくお願いします。

鏡 弘由

留年しないようにがんばりたいと思います。

木村 恵大

留年しないようにがんばる。

木村 健人

いろいろとがんばっていきたいと思います。

古賀 遼太

強い先輩達を目指して部活を頑張りたいです。

齋藤 哲也

部活などいろいろ頑張りたいです。

齋藤 諒太

前進的かつ規則的で奇妙な生活を厳守します。

佐藤 大

センスのいい人になる。

佐藤 智一

チャレンジ精神でガンバリたい。

佐藤 正規

何事にも精一杯取り組む。

佐藤 雄治

卒業するまでに英検準1級を取得します。

佐藤 諒

他を圧倒する勢いで気張る。

信夫 佑太

とにかくこの1年はマジメに頑張りたいです

柴田 さつき

全部一生懸命がんばります。

荘司 真磋

勉強についていけるようがんばる。

白幡 航史

勉強をがんばり5年間ノンストップで進む。

進藤 翔太

部活と勉強をがんばる!

須貝 正嗣

進級したい・・・。

高橋 慎太郎

この学校は、退屈しないからいい学校だ!!

高橋 賢光

5年で卒業できるようにがんばりますっ↑。

蛸井 宏明

勉強等をがんばる。

田澤 大季

ガンバル。力の限りガンバル。

田中 洋輔

冷静沈着猪突猛進臨機応変。

富樫 涼

鋭意専心に努める次第です。

中島 秀穂

予習・復習をしっかりしたい。

成澤 まゆみ

新しいこと等をたくさん頑張って学びます。

難波 翔

必ず5年間で卒業できるように頑張りたいです。

細川 明洋

強くなる!!

本間 彰

勉強と部活の両立をがんばる。

横山 徹也

部活と勉強を頑張る。

渡會 慶次

学校一日も休まないで、なるべく楽しく過ごす。

新入生 一人一言 物質工学科

阿部 佳奈

学んだことを着実に自分のものにしていきたい。

飯野 大地

これからも文武両道を目指して頑張ります!!

五十嵐 琢人

風邪ひかない。けがしない。留年しない。

石川 雅俊

1秒1秒を大切に、生活する。

石沢 彰典

部活と勉強に力を入れていきたい。

伊藤 麻衣

友達を大切にして、学校生活を充実させたいです。

伊藤 銘澤

進学を目指して、勉強を頑張る。

伊藤 悠介

勉強と部活を両立して頑張りたいです。

井上 祥宏

勉強をしっかりして高専生活を楽しもう。

漆山 やよい

勉強と部活と遊ぶことに全力をつくします。

大川 裕平

勉強と部活を両立できるように頑張りたいです。

大島 悠

学問に努力、部活に努力で文武両道のつもりで。

大場 太郎

勉強が難しいので毎日復習をがんばる。

岡部 真也

高専は自由で楽しい生活がおくれる。

小野 誠也

何事も自分のベストを尽くしたい。

工藤 一樹

部活と勉強の両立をがんばる。

黒井 亮

勉強と部活の両立を頑張ります。

後藤 駿介

勉強と部活を頑張りたいです。

近藤 翼

中学校で学んだことを高専生活に生かしたい。

今野 剛

勉強をがんばりたいと思います。

今野 倫子

5年で卒業できるように、死ぬ気で勉強します。

今野 涼

勉強と部活を両立し、特に勉強は、赤点とらない。

笹山 美紀

高専で得られることを得て自分を変えたい。

佐藤 恵梨沙

勉強も、部活も、遊びも一生懸命がんばりたい。

佐藤 圭太

勉強と部活を両立させたい。

鈴木 闘士也

勉強と部活を両立させてがんばる。

園部 康之

部活と勉強をがんばります。

高橋 克彦

常に目標に向かって努力することを忘れない。

高橋 研一

その場で内容を覚える。

高橋 峻

留年しないように勉強に精を入れたいと思います。

長南 和樹

先輩達を見習って勉強、部活を精一杯頑張る。

富樫 英人

しっかりとした生活をしていきたいです。

長瀬 大知

留年しないように、勉強をがんばりたいです。

林 尚人

高専生活をおもいきりたのしみたいです。

古木 友成

正しい生活を送り、学習をがんばりたいです。

本間 祐生

中学校での思い出を忘れず一日を頑張りたいです。

松浦 亜里沙

文武両道に励み、1日1日を大切に過ごします。

松浦 貴翔

英語と数学をがんばりたい。

真山 泰治

努力するのが今年の目標。

村田 かおり

勉強に積極的に取り組んで頑張りたいです。

渡部 晃

勉強とソフトテニスをがんばりたい。

専攻科新入生 一人一言

機械電気システム工学専攻

阿部 直也

専攻科での目標は出来るだけ早くTOEIC400点を達成し、卒業条件を満たす事です。

阿部 康弘

本研究室最初の専攻科生なので、先生方に迷惑をかけないように、同じ研究を行う5年生達と力を合わせてがんばっていききたいと思います。

青沢 陽平

専攻科は1年目が大変だと言われたが、入学して実際にそれを体験することができた。その分やりがいがあるので、頑張る。

金山 訓

自分を高めたい。本科で学んだことを更に深く、より専門的に学びたいと考える人に、正にうってつけです。充実しています。

桃谷 司郎

気を張らずに、ゆっくりと、あせらず、マイペースで楽しくやっていきたいです。それで、できるだけいろんな所に行こうと思っています。

金内 勇人

専攻科で資格取得を念頭に、1日1日が充実したと感じる生活に近づけ、自分のやりたいことを突き止め研究したいと思っています。

池田 孝明

今一番の目標はTOEIC400点以上なんですけど、想像したより大変なので英語の難しさを実感しています。

青柳 裕大

3月に鶴岡高専を巣立ち、早速戻ってきてしまいました。2年間という短い時間を大切に、自分探しをしたいと思っています。

加藤 圭

今、自分が達成したいと思っている目標はTOEICテストで400点以上取ることなので、それに向かって努力していきたい。

田村 健

現場で通用するような技術者を目指し、研究など自分の専門分野はもちろん、英語や専門以外の分野も広く勉強したい。

松井 大悟

まだ本科の頃との違いはあまり感じません。しいて言うならレポートが増えたような…。勉強、研究ともに全力で頑張りたいです。

早坂 勇亮

専攻科に入学して変わった事は、特にはないです。本科と同じ、うん。研究などは本科のとき以上に頑張りたいです。

長谷川達也

本科で学んだ知識を活かし、さらなる専門的な工学技術を身につけ、卒業後に役立つような、経験を積んでいきたいと思う。

松木 寛知

鶴岡高専は6年目ですが、新たな気持ちで、新たな目標に向かって日々努力していききたいと思います。優秀な技術者を目指して頑張りたいです。

大場 寛文

本科のときより積極的に勉強や研究に取り組む。資格取得にも積極的に挑戦したい。自主性と実行力を身に付けることが最大目標。

物質工学専攻

信夫 俊介

専門知識はもちろん、技術者に必要な知識や技術をこの2年間で身につけ、より高レベルな技術者を目標とする。

板垣 さやか

再びこの鶴岡高専で学べることを嬉しく思っています。鶴岡高専の名に恥じないよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

荒木 孝将

想像していたよりもはるかに授業、研究が忙しく驚いています。また、5年間寮生だったので通学も大変ですが、くじけずがんばりたいです。

成富 拓也

予想以上に研究、授業に忙しく、この生活に慣れるのに大変ですが、これも試練だと思い、毎日頑張っています。

大沼 睦

専攻科では計画的に研究を行い、充実した生活が送れるように頑張りたいです。

神尾 里美

専攻科は専門以外の知識も得られるところです。多くの技術を身につけ、社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

編入生 一人一言

第4学年

畠山 靖史 (4M)

卒業までに資格をたくさん取得したいです。高校から続いている無欠席を継続して、皆勤賞をもらうのが今後の目標です。

小林 竜 (4E)

鶴岡工業から来ました小林竜です。これからの目標はとりあえず勉強することと、遅刻しないようにすることです。

和田 祐也 (4E)

高専に入って今の目標は進級することです。授業内容は高校のときと違ってとても難しいので、毎日の自学自習をしっかりと行って行きたいです。

小林 史明 (4I)

当初の印象としては、勉強と笑いのめりはりのある学校だと思いました。今後の目標としては5年生に進級することです。

高橋 佑典 (4I)

高専に編入して、先輩と後輩が同時にできるという環境に戸惑いもありますが、2年間という少ない時間の中で精一杯頑張りたいと思います。

岡山 太樹 (4B)

課題が多いな…高専に入ってまず思ったことです。1週間がとても短く感じます。しかし、挫けずに課題や勉強をこなしていきたいと思います。

渡部 央 (4B)

鶴岡高専に編入して思うことは、レベルが高いなと言うことですね。宿題なんかも多くて、進級やばしですが、最善を尽くしたいと思います。

第3学年

ムハammad アクマル ビン イスマイル (3M)

家族と離れてさびしいですが、ここはやさしい友人が大勢いるので、がんばれると思います。専門だけでなく日本についても学ぼうと思います。

エル アズハリ ムラド (3E)

電子工学の勉強が好きで日本にきました。自然の景色が多く、静かなこの鶴岡の地で、将来のためにも、もっと詳しい勉強を続けていきたいと思います。

JABEEプログラム(生産システム工学) 第1回修了証授与式



6月17日(土)に本校のJABEEプログラムの修了証授与式(第1回)が東京第一ホテル鶴岡で挙行されました。



学生会のお仕事



学生会長 赤澤 直哉

どうもこんにちは。今年度の学生会会長に就任しました4Mの赤澤です。この度、この高専だよりの一部を任せてもらいましたので、この場を借りて学生会の仕事や行事についての話をさせていただきたいと思います。どうぞよろしく。

■学生会総会について

まずは、遅くなりましたが、先日5月9日に行われた学生会総会についての感謝の意を表したいと思います。みなさんのおかげで、今年度の学生会総会もスムーズに進行し、女子バドミントン愛好会の部への昇格、平成18年度の学生会役員承認、文化祭実行委員長選出など、無事に終えることができました。ありがとうございました。

僕たち学生会の催す行事は、すでに行われた学生会総会、校内体育大会。そして6月・7月に行われる高専大会の「壮行式」、もっとも大きな行事とも言える「学園祭」などです。このほかに、学生会役員は学生会新聞「鶴報(かくほう)」の製作・発行や、校舎中庭のごみ拾いもしています。

■学生会新聞「鶴報」

みなさんの中で鶴報を読んだことのある人はどのくらいいるでしょうか。「そんなものどこにあるかわからない!」と思う人もいるかもしれません。そんな人は教室の掲示板を探してみてください。実は各教室にすでに掲示してあるのです。そして知らぬ間に学生会役員の手によって新しいものが貼られていたりするのです。昨年度はほとんど発行できなかった鶴報ですが、今年度はたくさん発行して、学生の皆さんにいろいろなことを伝えたいと思っています。興味のある人は、目を通してみてください。

教室に入って鶴報を貼り付けている人を見つけたらおそらくその人は学生会役員です。心やさしく、遠巻きに見守ってくれるようお願いいたします。

■中庭のごみ拾い

金曜日が晴れていたら校舎に囲まれた芝生の中庭に、ゴミ袋を持った人たちが現れます。僕達、学生会役員です。3年前から校内の美化活動として、主に中庭でごみ

拾いを行っています。残念なことに、教室の窓から中庭へのごみの投げ捨てによって、いくら拾っても次の週には新しいごみが落ちています。その上、ごみの量は年々増えてきているようです。そのせいで、今年は中庭の掃除で手一杯になってしまい、校舎のほかのところのごみ拾いが行えていないのが現状です。みなさんひとりひとりが「ごみは分別してゴミ箱へ捨てる」という当たり前のことをするだけで、学校は今よりもっときれいになります。みんなできれいな学校を目指しましょう!!

■校内体育大会

今年の体育大会は楽しめましたか?あいにく晴天とは言えない曇り空でしたが、各競技ともそんなことはお構いなしに白熱した試合をしていたと思います。

各競技の1位は、

サッカー5M
バレー4 I
バドミントン教職員チーム
ミニ駅伝3M
総合優勝5M

となりました。5Mのみなさん念願の総合優勝おめでとうございます!教職員の皆さんはおととしに続いてバドミントン2連覇!強いですね。毎日昼休みに行われる練習の成果でしょうか。4年ぶりに行われたミニ駅伝は非常に盛り上がりました。みんなの声援の中、みごと優勝を果たした3M!とても頑張ったと思います。

来年はどこのクラスが優勝するか楽しみです。

■学園祭

学園祭は年間の行事の中で最も大きいものです。今年度の文化祭実行委員長である4 I 山本啓太君もすでに10月の学園祭に向けて活動を始めています。今年も全校生徒と一緒に楽しい文化祭を目指して頑張ります!皆さん楽しみにしてください!

長々とした文面に付き合ってくれてありがとうございました。今年度も学生会役員は鶴岡高専を少しでもよくするために活動をしていきます。これからよろしくお願ひします。

What's 鶴鳴寮?

寮生会長 松田 拓也



「高専の寮ってどんなところだ?」と聞かれたら、寮生一人ひとりが生き生きと自由に生活できる場所だといえると思います。寮生は常に「明・厳・美」というスローガンの下に日々の生活に自覚を持って行動し、寮の規則を守った上での自由の中を過ごしています。また、普段の生活でも寮生同士同じ仲間として学年を超えて付き合いをし、お互いに助け合っています。寮生にとって日常とは常に仲間とのふれあいの中で大切なものを見つけ、充実した生活を送っていると思います。

そんな充実した毎日ですが、その中でも寮内の行事はとてやりのある行事ばかりで、さらに寮生同士のつながりが深まるものばかりです。その中からいくつかを紹介しましょう。

暁登山

毎年5月に開かれる行事で、早朝から寮の近くの金峯山という山に登り日の出を拝むという行事です。自分の足で山頂まで登り、そこから望む朝日と食べるパンの味は感動の一言に尽きます。



金峯山山頂にて

寮祭

毎年9月に行なわれる寮祭は寮生全員が一緒になって出し物などをして楽しむ行事です。各部活ごとに出店、音楽部によるライブ、寮生会が主催する出し物やビンゴ大会などみんなが参加でき、楽しめるものばかりです。毎

年趣向を凝らした出し物を考えていますので、年ごとに違った楽しみがあります。寮生活最大のイベントといえるでしょう。



寮祭 ライブステージ

寮生体育大会

12月に行なわれるこの行事は学年オープンでチーム編成をしてスポーツをします。卓球、ソフトバレー、相撲、フットサルなどの種目があります。毎年違ったスポーツが楽しめるのもこの行事の醍醐味でもあります。また優勝チームには豪華な商品もあります。



寮生体育大会 ソフトバレー

このほかにも寮にはさまざまな行事がありますが、どの行事も楽しくやりのある行事ばかりです。今まで寮に興味なかった人や知らなかった人も興味を持ってもらえたらと思います。

OB紹介 —活躍する本校卒業生—

環境破壊と復活支援

株式会社 山本製作所（天童市）
生産資材管理部 参事

鎌田 正司
（昭和44年 機械工学科卒業）



私は高専卒業後、(株)山本製作所に入社し、あっという間に37年目になりました。振り返ってみますと、昭和39年に東京オリンピックが開催され、その後、素晴らしい勢いの高度成長期に入り、オイルショックやバブル景気、バブル崩壊の中を走ってきました。その間、我社に鶴岡高専出身者が約20名入社しておりますが、高専設立当初の目的である即戦力、中堅戦力を十分に発揮してきていると思います。

入社以来、私は生産工場や資材購買、技術開発、営業と幅広く携わってきましたが、ここ数年、時代や環境が大きく変化し始めてきているのが気になります。皆様方もご存じのとおり、環境問題が大きくクローズアップされています。

この課題について、私達が取組んでいることをご紹介いたしたいと思います。環境対応については、我社も色々実施しておりますが、その中の一つとして化石燃料に代わるバイオマスエネルギーの普及に力を入れております。この発端は、鶴岡高専地域共同テクノセンターの元センター長の丹先生からご紹介をいただき、ペレットストーブの開発販売を始めたことでした。私も担当者として、北海道から九州まで多くの関係者と一緒に販売普及に携わってきました。そして今では、ペレットストーブの啓発・普及が進み、大きな環境課題である地球温暖化防止への切り札商品として期待されてきております。

考えてみれば、私の小学生の頃の暖房や給湯は、イロリと薪の世界でした。その後、高度成長の波に乗り、工場や自動車の増加、灯油ストーブ、ボイラーなどの急激な普及で大量の化石燃料を消費し、何億年もの循環型社会を一気に壊したのは、ここ50年間位のことです。これは私達が動き回った時代で、責任が大きいし掛かってきております。今からは、かけがえのない環境復活への様々な対応策に、積極的に協力していかなければならないと考えております。

高専から社会人へ

セイコーエプソン株式会社（諏訪市）
広丘事業所機器総務部

前田 時宏
（昭和58年工業化学科卒業）



学生生活の思い出 私が高専に入った時、1～2年生は全寮制でした。最初は4人部屋で、庄内、内陸、その他入り混じった入居の構成でした。方言も交じり合って「高専語」という方言のような言葉が出来上がり、独特の雰囲気があったのを記憶しています。学生同士や先生への挨拶も必ず「オス!」で、今から考えるとなかなか統制のとれたものだったと思います。

寮生活は、良いことも悪いことも教えてくれました。15～16歳という多感な時期をいっしょに寝起きし、同じ釜のめしを食べた仲間は、いまでも友人として長い付き合いをしています。

寮生活以外では、化学科なのに1年生の時から計算機室へ入り浸り、異端児のような存在でした。いまのコンピュータとはまったく違い、計算機室の半分くらいがコンピュータの機械で埋まっていました。8ビットのマシンでOSも難解な機械語で書かれたもので、コンピュータのいろはを教えてくれたマシンでした。今思うと、コンピュータの扱いはなんと楽になったものかとしみじみ思います。

仕事のことについて 私が勤めている会社の親会社はプリンタで有名なセイコーエプソンです。その前身は、セイコーのウォッチを作っていた諏訪精工舎という会社で、精密なものづくりと環境にこだわりを持った会社です。

そのなかで、私は、東北エプソンの環境施策である省エネルギー対策とゼロエMISSIONの達成に向けて、風力発電や小規模水力発電の会社構内での実現性の検討や新しい水処理技術(廃棄物の出ない水処理技術やクロードシステム)に取り組んできました。小規模水力発電については、丹先生のご指導も得ながら実現に向けて進行中です。

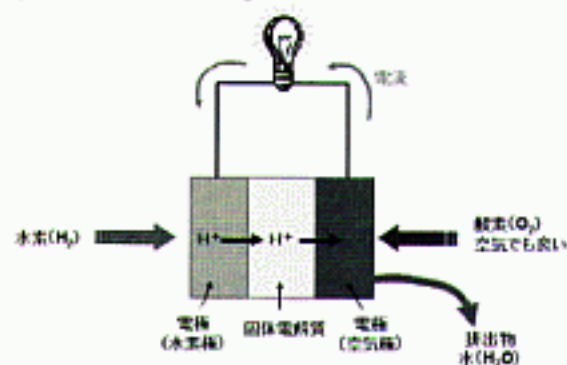
（前田氏は今年1月まで、東北エプソン株式会社 管理部環境管理グループ課長としてゼロエMISSIONに取り組んでおられました。<http://www.epson.jp/osirase/2006/060418.htm>）

新しい燃料電池用電解質膜の開発

物質工学科 有機機能材料研究室 佐藤 貴哉



水(H₂O)は電気を通すと水素(H₂)と酸素(O₂)に電気分解されます。この逆の反応を利用して水素と酸素から電気を取り出す装置が燃料電池(Fuel Cell; FC)です。FCの発電原理を下図に示します。FCは燃料を燃やすことなく発電できるため、二酸化炭素が発生せず、排出物は水だけなので、石油に代わる新エネルギーとして注目されています。



燃料電池の原理

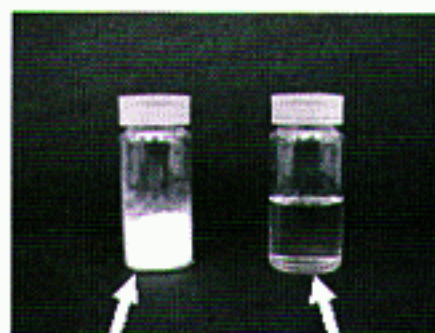
当研究室(物質工学科)では、FCの重要部品である固体電解質膜の開発研究を行っています。FCの発電効率を向上させ、さらに長寿命化するためには固体電解質膜の改良が必要なのです。そこで、水素イオンがスムーズに移動出来て、何千時間発電しても電解質膜の耐久性が損なわれない材料を開発しようとしています。

皆さんは「イオン液体」という言葉を聞いたことがありますか？

一般的にプラス電荷を持ったイオンとマイナスの電荷を持ったイオンは互いに結合して「塩」と呼ばれる固体の物質になります。例えば食塩はナトリウムイオン(Na⁺)と塩素イオン(Cl⁻)が結合した固体の物質です。最近この「塩」の分子構造を適当に設計することで、常温常圧で液体の塩を作ることが可能になりました。人工的に合成された液体の塩は「イオン液体」と呼ばれています。

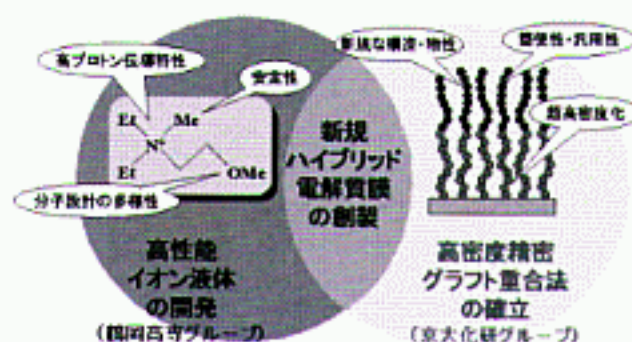
イオン液体は、イオンをスムーズに移動させることが出来て、高温に耐える性質を持っています。イオン液体は燃えません。なんでも溶かす性質も持っています。最近

では磁石に引き寄せられるイオン液体も合成されています。私たちはこの不思議な物質、「イオン液体」を膜状に固体フィルム化してFCの固体電解質に利用しよう考えています。



固体の塩 イオン液体
個体の塩とイオン液体の外観

私たちは現在、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「固体高分子型燃料電池実用化戦略的技術開発 / 次世代燃料電池技術開発」研究助成を受けて、新しいイオン液体の開発とそれを用いた電解質膜開発を京都大学化学研究所の辻井助教授と共同で行っています。イオン液体の分子を電極基板上にブラシの様に生やして電解質膜に利用しようという挑戦です。世界で初めての試みで、巧くいかどうかはわかりませんが、高性能の電解質膜開発に日夜働んでいます。



開発のイメージ図

当研究室では、上記以外にイオン液体自体の合成とその物理化学特性の把握研究。イオン液体をリチウムイオン電池や電気二重層キャパシタなどの新しい蓄電デバイスへ応用するための基礎研究を行っています。興味のある方は、是非お立ち寄りください。

離任しました



前制御情報工学科
市村 智康
(現小山高専電子制御工学科)

4月1日より、小山高専電子制御工学科へ異動させて頂きました。在職

中は、大変お世話になりました。

鶴岡では4年近く過ごしましたが、庄内は山や海など自然に恵まれ、人々も温かく、季節折々の食材や温泉などとても楽しい生活を送ることができました。また、妻と出会い、人生の新たな出発点を得ることもできました。

先ほど、パソコンの中の古いフォルダを開いてみたところ、鶴岡高専着任時の「高専だより」の原稿が出てきました。その中で、「流れる水は清らかなように、この緊張感を適度に保ちつつ学生の指導・研究を続けたいと考えています」とあり、我ながら、赤面をしてしまいました。しかし、新しい職場のほのかな緊張感の中で、また教員になりたての頃のその気持ちを持ち続けたいと考えております。

現在の職場も同じ高専ですので、再び、どこかでお会いできる日があるかと存じます。気持ちも新たに、高専のために、より一層努力していく所存でありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



前庶務課人事係長
高橋 博之
(現山形大学総務部人事課)

平成15年4月から3年間庶務課人事係にお世話になり、皆様方からご指導等いただきまして、大変楽しく有意義に仕事をすることができました。誠にありがとうございました。

振り返ればあっという間の3年間だったように思います。この間、特に印象に残りましたことは鶴岡高専を含みます全国55の国立高等専門学校が一つに纏まりまして国立高等専門学校機構という独立行政法人に生まれ変わり新たにスタートした訳ですが、その準備ですとかスタート後の実務だったように思います。

「自学自習」・「理魂工才」が校訓の鶴岡高専で仕事をすることができ、大変幸せに感じました3年間ありがとうございました。



前会計課総務係
阿部 正行
(現山形大学総務部企画課)

この度、4月1日付けをもちまして、山形大学総務部企画課へ異動しました。5年6ヶ月の間、皆様には、温かいご指導を頂き心から御礼申し上げます。

近い将来、鶴岡でまた一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしております。また今後ともご指導いただけますよう、よろしくお願いいたします。



前学生課教務係
足澤 聡
(現山形大学医学部管理課)

2年前、鶴岡高専へ異動になり、以降2年間、大変お世話になりました。学生の皆さんと話す機会も多く、ふと感じることがあり、それを最後のお節介にします。皆さんもっと色々な分野の読書をしてください。専門を極めるのは、一見良く見えますが、一步間違えばドングリの背比べで終始します。ドングリのサイズそのものを競うのと、殻を破って成長するかは、個人の選択ですが、大きく成長するには、読書を通じた幅広い教養が人格形成には不可欠だと思っております。

皆さんに幸多からんことを最後にお祈り申し上げます。

着任しました



制御情報工学科
佐藤 義重

4月1日付で着任し、少し慣れてきました。これまで、名古屋地域の三菱系のエンジニアリング会社で航空・宇宙関係の研究・開発設計の業務を担当し、微力ながら世の中に役に立つ仕事が出来たことを感謝しています。

今までのこの企業経験を活かし、大学工学部とは一味違った、手と頭が同時に働くタイプの物づくり実践技術者の育成に努力する所存です。高専と地域企業との連携により、従来技術をブレイクスルーするような共同研究ができればと考えています。

最後に、鶴岡に来て2ヶ月が経とうとしていますが、心機一転頑張りたいと思いますので、宜しくお願いいたします。



機械工学科
増山 知也

みなさん、初めまして。本年4月より鶴岡高専に勤務することになりました。私の専門分野は機械要素と設計工

学、もう少し具体的に言いますと、歯車の強度や損傷に関する研究と、コンピュータの助けを借りて設計案を導く方法の研究に取り組んでいます。最近では人間の日常生活を支援する機器の設計に興味を持っています。

私の役目は、本校の学生さんが世界で活躍するエンジニアになるためのお手伝いをすると思っています。未熟者ですが、一日も早くプラスの戦力になれるよう努力する所存です。これからよろしく願いいたします。



庶務課長補佐
佐藤 勉

去る4月1日付けで庶務課にお世話になることになり、本校での在職は10年ぶり3回目となります。

最初に勤務したのは、開校4年目の昭和41年4月から同59年3月であり、次いで、平成5年4月から同8年3月でありました。

平成8年4月以降の山形大学異動後の職務内容は、入学試験事務を含めた学生(お客様)関係事務を担当しておりましたが、今後は企画室を含めて、総務担当の課長補佐として力まずにベストを尽くしたいと思います。

残り少ないサラリーマン人生ですが、これまでの経験を生かし、微力ながら職務に精励する所存でありますので、よろしく願いいたします。



企画室企画・連携係長
江口 裕之

江口と申します。事務組織の変更に伴い、新規に発足した、企画室の企画・連携係長ということで、業

務範囲の確定や、手順等の確立に追われる毎日です。企画室は、外部資金、評価関係等を担当しますが、当面の目標としては、平成19年度での認証評価の受審が挙げられます。それと、自己紹介ですが、生まれも育ちも、山形市で、3方を山に囲まれたところに住んでおりました。山育ちのクセに、アウトドア系は全くダメです。庄内地方は、初めてですので、いろいろと楽しみにして来ました。こんな、私ですが、よろしく願いします。



庶務課図書係
木村 みずほ

4月から図書係に着任いたしました木村と申します。着任して3ヶ月が経ちますが、大学で学んだこと以上に、

図書館の現場を通じて学ぶことが多く、充実した日々を送らせていただいております。

新規採用ということもあり、至らない点が多々あると思いますが、大学で学んだ知識を活かし、また、みなさまからのご指導をいただきながら、利用しやすい図書館作りに励んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



会計課用度係
成田 敦史

4月から会計課用度係でお世話になっております。3月までは山形大学工学部に勤務しておりました。元々

庄内の出身ですが、地元に戻るのは高校を卒業して以来、約10年ぶりになります。一日も早く高専の雰囲気になれるよう努力していきますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



学生課教務係
土門 春奈

この度4月1日付けで、鶴岡工業高等専門学校に新規採用されました。まだ慣れないことも多いですが、周り

の方々温かくご指導頂きながら毎日仕事をしています。何かとご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



庶務課人事係
佐藤 知美

5月からお世話になっております。住まいは海沿いなので、海を眺めながら通勤しております。高専は周りが

緑に囲まれて、自然豊かな環境で仕事ができ嬉しく思います。初めてのことばかりで、至らない点が多いですが、一日も早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

インフォメーション

これからの主な学校行事等

7月

東北地区高専体育大会 1日・2日
 鶴岡会場（バレーボール・ソフトテニス・柔道・硬式野球
 サッカー・水泳・バドミントン）
 仙台会場（陸上競技・バスケットボール・卓球・剣道・テニス
 ハンドボール・ラグビーフットボール（10月開催））
 専攻科入学試験（学力） 7日
 終業行事 21日
 中学生一日体験入学 29日
 科学の祭典 30日

8月

全国高専体育大会（関西地区） 3日～11日
 編入学試験（推薦） 24日
 始業行事 28日

9月

前期末試験 25日～29日

10月

高専祭 21日・22日

11月

専攻科入学試験（学力） 1日
 工場見学旅行・4年生 7日～10日
 後期中間試験・1～3年生 28日～12月1日

12月

寮生体育大会 12日
 編入学試験（学力） 20日
 終業 22日

1月

始業行事 9日
 入学試験（推薦） 21日

2月

卒業試験 2日～8日
 卒業研究発表会 14日・15日
 入学試験（学力） 18日
 学年末試験・1～4年生 22日～28日
 終業行事 28日

3月

卒業式・修了式予行 19日
 卒業式・修了式 20日

東北地区高専体育大会の会場（鶴岡会場開催種目）

- ・バレーボール（鶴岡市小真木原総合体育館）
- ・ソフトテニス（鶴岡市小真木原テニスコート）
- ・柔道（鶴岡市朝陽武道館）
- ・硬式野球（鶴岡市小真木原野球場）
- ・サッカー（鶴岡市小真木原陸上競技場）
- ・水泳（鶴岡市民プール）
- ・バドミントン（酒田市宮国体記念体育館）

第一体育館の床が生まれ変わりました

